



## 継続は力なり。反復は飛躍なり。



進路部長の菅野です

### 答案の質

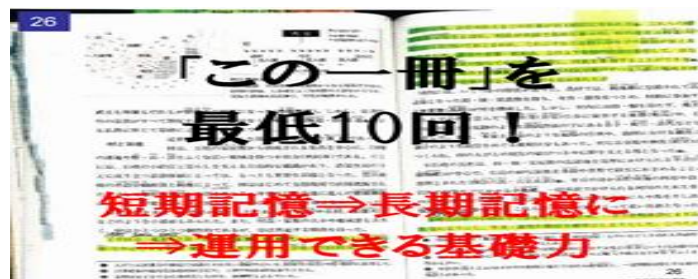


138期の皆さん、受験勉強に手応えを感じていますか？

受験勉強に派手さはありません。お手軽さありません。地道にコツコツ、一步一步進むしかありません。それを受験当日までやり抜いた人が、勝負できる人です。合格はその先にあります。まだまだ道半ば。この前出来なかった問題が、今回は出来るようになった。手応えというのは、このことです。

期末考査の答案を採点していて気づいたことですが、答案に雑さがあります。頭の中に知識が体系化されてくれば、答案の雑な感じというのは次第に解消されてくるのですが、その感じがまだ出て来ていない。しかも、模試のような初見の問題ではなく、授業で既習した内容を確認する考査問題で、答案が雑であるというのは、危険信号だと感じています。考えられるのは、君たちがまだ基礎基本の知識を習得しきれていない未熟さに起因しているのか、あるいは、君たちが勝手に考査勉強と受験勉強を別物として学びの姿勢を変えてしまっているのか？ どちらにせよ、高3の9月の現状としては非常にまずいことです。受験勉強をポーズとしてではなく、本質的なものにしていかないと、今後の伸びしろは期待できません。139期の答案の質も未熟でした。140期の答案はどうなのでしょう？ 答案は読んでもらってはじめて点になるのです。自分だけにしかわからない答案は、すでに答案ではありません。

強く改善を求めます。



永久の未完成これ完成である

宮沢賢治

## 重要 「学校推薦型選抜」「総合型選抜」の受験を考えている生徒への助言

- ① 私立大学指定校推薦以外の「学校推薦型選抜」「総合型選抜」は、倍率がある受験です。高いものと3~5倍のものもあります。つまり、合格者数より不合格者の方がずっと多いということを肝に銘じて受験してください。
- ② したがって、「学校推薦型選抜」「総合型選抜」の受験の準備は、一般試験の受験勉強と並行して行わなければならないということです。よくある話ですが、合格すると勝手に思い込んで受験勉強を中断してしまい、不合格になってから慌てて勉強をやり出したが、時間が足りなくて一般受験も失敗した、みたいなことにならないようにしてください。  
つまり「学校推薦型選抜」「総合型選抜」は、リスクが伴う受験だということです。しかも、ラクな受験でもない。考え方としては、第一志望の大学の受験機会を増やす、というスタンスで構えておいてください。
- ③ 志願理由書の作成、面接や小論文の練習は、思いのほか時間が取られます。得意な人でも、モノになるまで1ヶ月はかかると覚悟しておきましょう。大事なのは積極性です。面接などは自分から依頼しないと、待っていてもどうにもなりません。

## 参考 難関大学における共通テストの重み

このデータをどう解釈しますか？

38 合格に必要な得点は？（共通テスト+個別試験）

駿台  
SUNDAI

39 合格に必要な得点は？（共通テスト+個別試験）

駿台  
SUNDAI

### 東北大 工学部 <前期>

共通テスト + 個別試験 = 合計  
450点 + 800点 = 1250点

1 : 1.78

[2024年度入試 個別試験配点]  
英語200点・数学300点・理科300点  
合計800点

(大学公表値) ←2024年度入試→ (大学公表値)  
合格者平均得点率 合格者平均点

80.3% 56.1%  
361.23点 448.40点 809.64点

1 : 1.24

### 東北大 経済学部 (文系) <前期>

共通テスト + 個別試験 = 合計  
650点 + 900点 = 1550点

1 : 1.38

[2024年度入試 個別試験配点]  
英語300点・国語300点・数学300点  
合計900点

(大学公表値) ←2024年度入試→ (大学公表値)  
合格者平均得点率 合格者平均点

77.9% 58.1%  
506.06点 523.23点 1029.29点

1 : 1.03

## ○安高生が今取り組むべきこと！（3年生だけじゃないぞ）



### 対策その1…教科書の理解度を高める

アウトプットを速くするためには、まず正確な知識と理解のインプットが必要となります。曖昧な知識と理解は何の役にも立ちません。むしろ判断を誤る原因となってしまいます。学習の基本は反復と継続ですから、教科書の内容を繰り返し復習してください。

### 対策その2…できることできないことの明確化を

模試は自分の学力の現在地を把握するための羅針盤です。模試は受けた後の取り組みの方がずっと大事です。解説を熟読し、なぜそうなるのか、不足していた知識や理解は何か、等々自己分析をし、できなかった問題の克服をその都度やっていく。これを決しておろそかにはしないでください。